

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 集計結果

通所支援事業所 すまいるⅡ
令和3年1月実施／有効回答8件

◇環境・体制整備について

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	未記入	自由記述欄
①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	1			・個室の空間があると良いと思う ・利用人数に対して、部屋のスペースは、とても広い。 ・個室の空間があると良いと思う。
②	職員の配置数は適切であるか	7	1			・一人職員が増えた。 ・配置数は適切であるが、10月より職員を増員し、支援をしている。
③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8				・トイレに手すり、玄関にスロープを設置している。 ・今年度より、トイレの手すり、玄関のスロープを設置しバリアフリー化に配慮している。

【今後の対応として】

- ① 室内はバリアフリーで広々としているが、子ども達の気持ちが落ち着かない時の空間作りも模索していきたい。
- ② 規定の職員数を配置しています。10月より職員を増員した事で、送迎時、手薄になる時間帯も配慮出来ているのではないかと思います。
- ③ トイレに手すりや狭い玄関でも対応出来るように取り外し可能なスロープを設置して、バリアフリーの環境作りに配慮した事で、排泄、歩行行動がスムーズに出来るようになってきていると感じる。

◇業務改善について

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	未記入	自由記述欄
④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	1			
⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8				・評価表による意向において、バリアフリー化を検討し、手すり、スロープを設置した。
⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8				
⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	2	1	
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8				

【今後の対応として】

- ⑤⑥ 毎年実施し、業務改善に向けて話し合う機会を設けている。結果を各家庭に配布し、法人のホームページに公開している。
- ⑦ 予算の都合上行っていない。
- ⑧ 職員の資質向上のため、臨床心理師による研修に加え、伝達講習や研修DVDの視聴を多く設けていく。

◇適切な支援の提供について

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未記入	自由記述欄
⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8				
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			1	・Vinlando IIの項目を取り入れ、日々の支援に役立てている。
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8				
⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	6	2			・月ごとの行事を利用して、子ども達が楽しめるように工夫している。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8				
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1			・職員とじっくり個別をする時間と、集団活動に参加出来るように絵本を見る時間も取り入れて行っている。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	4			
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8				・日々振り返りを行い、職員間で支援の情報共有をするようにしている。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8				・個人記録ノートを作成し、日々の記録をしている。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8				
⑲	ガイドラインの総則の基本活動※を複数組み合わせ支援を行っているか	6	1		1	

【今後の対応として】

- ⑩ 標準化されたアセスメントツールとして、vineland IIの項目を使用し、支援計画を作成している。
- ⑫ 児童の心身の安定のために、季節が感じられる制作や個々に応じた環境設定、個別課題を提供し、楽しみながら取り組めるよう工夫している。
- ⑬ 平日には出来ない、買い物や調理体験などを長期休みの活動に取り入れ、様々な体験が出来るように工夫している。
- ⑭ 個別活動への取り組みでは、意欲的な姿が見られるようになってきていることから、回数を増やす事や、集団の活動内容も変化をつけ、楽しめるよう検討していきたい。
- ⑮ 支援開始前の打ち合わせは、職員の勤務状況により難しいため、参加出来ない職員には掲示する事で、情報共有するようになっていく。

◇関係機関や保護者との連携について

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	未記入	自由記述欄
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	2		1	
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	2		1	
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	5	1	1	
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7		1		
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	3	1	1	
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1	1		
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	5	1	コロナウイルス予防策として他の施設への往来を自粛しているため出来ない。
㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	6	1		1	参加し、会議内容を全職員に周知している。
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8				
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	2	3	1	・職員順番でペアレント・トレーニングの研修を受けている。

【今後の対応として】

㉑ 毎年、学校公開日に参観していたが、今年度はコロナウイルス感染防止のため何う事は出来なかったが電話等で日常の様子を聞く機会を設けている。

㉖ 児童クラブ等の交流は難しいと考えている。公園や裏庭での触れ合い時に挨拶などが出来ているので継続していく。

㉗ すまいるは教育支援部会、すまいるⅡは子ども支援部会に参加し、会議内容を全職員に報告している。

㉙ ペアレント・トレーニングの研修には参加しているが、支援は行っていない。今年度は法人主催で研修の場を提供する事を予定している。

◇保護者への説明責任等について

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未記入	自由記述欄
⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8				
⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	2			
⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	2	1		・毎年、保護者会を開催し、父母の会も検討する方向であったが、コロナのため今年度は中止となる。
⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8				
⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8				・毎月、通信を発行し、行事や子ども達の様子などの発信をしている。
⑮	個人情報に十分注意しているか	8				
⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8				
⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	5		

【今後の対応について】

- ⑩ 契約時に説明し、資料の配付を行っているが、更に利用者負担について詳細を説明する予定である。
- ⑪ 保護者からの相談には、送迎やモニタリング時を利用して、少しでも良い解決策となるように、話す機会は設けている。
- ⑫ 今年度は、コロナウイルス感染予防策のため中止であったが、毎年、保護者会を開催している。父母の会も検討中である。
- ⑬ 苦情処理の体制整備の一環として第三者委員会を立ち上げ、5名の方をお願いしている。コロナウイルス感染の状況によるが、年1回の委員会開催は継続していく。
- ⑭ 毎月通信を発行し、活動内容を伝える事を継続しながら、より療育内容を詳細に伝える形を検討していきたい。
- ⑰ 今年度はコロナウイルス感染予防策のため、中止となったが、ボランティアの受け入れや、法人主催のイベントにて事業所を紹介する場を設けている。クリスマス会にはフルーツ演奏を聴く体験が出来た。

◇非常時等の対応について

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未記入	自由記述欄
⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8				
㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8				・子ども達の状態を見て、スムーズに行動出来るように考え訓練を行っている。 ・室内で訓練の話聞く、歩き、車を使つての避難など以前よりスムーズに出来るようになっている。
㉒	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8				
㉓	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			1	・支援計画に記載し、モニタリング時に説明をしている。
㉔	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2	1		
㉕	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8				・事例集を作成し、会議時、職員間で振り返りを行っている。

【今後の対応として】

- ㉑ 緊急時対応マニュアルは契約時に資料を配付している。また、今年度も災害伝言ダイヤルへの再生体験を行った。
- ㉒ 視覚支援として事前に提示する事で、スムーズに訓練に参加出来ている。今後も継続し、防犯訓練にも対応出来るようにしていきたい。
- ㉓ 虐待防止研修に参加した職員の、伝達講習を行い。職員間で共有する機会を設けている。
- ㉔ モニタリング時に保護者の方に説明を行い、支援計画に記載している。
- ㉕ 毎月、職員会議時に振り返りを行い、情報共有と共に改善出来るように話し合っている。